



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 宝ホールディングス株式会社

コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柿本 敏男

問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長

(氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	106,934	5.7	3,880	18.5	4,326	26.2	2,525	38.1
27年3月期第2四半期	101,130	3.7	3,275	36.8	3,429	33.7	1,828	72.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,413百万円 (18.1%) 27年3月期第2四半期 1,196百万円 (93.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	12.55	
27年3月期第2四半期	9.09	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	251,238	155,695	51.6
27年3月期	264,438	158,404	49.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 129,753百万円 27年3月期 131,923百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期				10.00	10.00
28年3月期					
28年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	4.8	11,300	1.8	12,000	1.5	6,400	12.2	31.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	217,699,743 株	27年3月期	217,699,743 株
28年3月期2Q	16,474,941 株	27年3月期	16,474,061 株
28年3月期2Q	201,225,317 株	27年3月期2Q	201,228,886 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

## ○ 第2四半期決算短信補足資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出関連企業を中心とした企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかに回復を続けております。

一方、海外においては、中国をはじめとするアジア新興国の景気に減速傾向がみられるなど、世界経済は依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、長期経営ビジョン「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の達成に向けた第2ステップとしての「TaKaRaグループ中期経営計画2016」のもと、更なるグループ企業価値の向上を目指し、国内では収益力の向上、海外では事業の拡大・伸長に取り組むとともに、バイオ事業の成長加速により、環境変化に強いバランスのとれた事業構造に変革していくことを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高106,934百万円（前年同期比105.7%）、売上総利益41,632百万円（前年同期比107.8%）、営業利益3,880百万円（前年同期比118.5%）、経常利益4,326百万円（前年同期比126.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,525百万円（前年同期比138.1%）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## [宝酒造グループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎は減少しましたが、清酒は“松竹梅白壁蔵「霽」スパークリング清酒”や“松竹梅「天」”を中心に好調に推移し、海外でもTAKARA SAKE USA INC.（米国）が好調であったため増加いたしました。ソフトアルコール飲料では6月に“TaKaRa 果汁入り糖質ゼロチューハイ「ゼロ仕立て」”を新発売し、引き続き“TaKaRa 「焼酎ハイボール」”も好調に推移しましたので増加いたしました。

その他酒類では、ウイスキーやワインなどが増加しましたので、酒類全体は増加いたしました。

調味料ではみりんや料理用清酒が増加し、原料用アルコール等や物流も増加いたしました。

また、海外日本食材卸では、FOODEX S. A. S.（仏国）やCOMINPORT DISTRIBUCIÓN S. L.（スペイン）などが引き続き好調に推移しましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造グループ全体の売上高は、91,872百万円（前年同期比103.8%）となりました。売上原価は、売上高の増加に伴い58,541百万円（前年同期比103.0%）となりましたので、売上総利益は、33,330百万円（前年同期比105.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費の増加などにより30,412百万円（前年同期比103.2%）となりましたので、営業利益は、2,918百万円（前年同期比133.0%）となりました。

## [タカラバイオグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬が前年同期を上回ったほか、円安の影響もあり、13,257百万円（前年同期比120.8%）となりました。売上原価は、売上高の増加に伴い5,904百万円（前年同期比120.1%）となりましたので、売上総利益は、7,353百万円（前年同期比121.5%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や人件費等の増加により6,669百万円（前年同期比122.8%）となりましたので、営業利益は、684百万円（前年同期比109.4%）となりました。

## [宝ヘルスケア]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、フコイダン関連製品や化粧品OEMが引き続き増加しましたので、955百万円（前年同期比118.0%）となりました。売上原価は、売上高の増加に伴い472百万円（前年同期比119.1%）となりましたので、売上総利益は、483百万円（前年同期比116.9%）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費の増加などにより448百万円（前年同期比117.1%）となりましたので、営業利益は、35百万円（前年同期比113.9%）となりました。

## [その他]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,703百万円（前年同期比95.4%）、売上原価は、2,386百万円（前年同期比96.2%）となりましたので、売上総利益は、317百万円（前年同期比90.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、336百万円（前年同期比98.9%）となりましたが、19百万円の営業損失（前年同期は11百万円の営業利益）となりました。

## 品種別販売実績

セグメントの名称		前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前年同期比
	品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造グループ				
	焼酎	31,090	29,707	95.6
	清酒	9,168	9,817	107.1
	ソフトアルコール飲料	13,375	14,246	106.5
	その他酒類	6,335	6,712	106.0
	酒類計	59,970	60,484	100.9
	本みりん	6,465	7,073	109.4
	その他調味料	4,107	4,358	106.1
	調味料計	10,573	11,432	108.1
	原料用アルコール等	3,171	3,494	110.2
	物流	5,645	5,953	105.5
	海外日本食材卸	8,390	9,796	116.8
	その他	764	711	93.1
	計	88,515	91,872	103.8
タカラバイオグループ		10,971	13,257	120.8
宝ヘルスケア		810	955	118.0
その他		2,833	2,703	95.4
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去		△1,999	△1,855	—
合計		101,130	106,934	105.7

(注) 1. 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期連結会計期間よりセグメントの区分の変更を行っており、前第2四半期連結累計期間の販売実績は、変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを表示しております。

なお、セグメントの区分の変更につきましては、「3. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照ください。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13,200百万円減少し、251,238百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ6,920百万円減少し、153,732百万円となりました。これは主に現金及び預金が7,835百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ6,280百万円減少し、97,505百万円となりました。これは主に投資有価証券が6,514百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ10,491百万円減少し、95,542百万円となりました。このうち流動負債は前連結会計年度末に比べ9,977百万円減少し、44,899百万円となりました。これは主に1年内償還予定の社債が5,000百万円、未払消費税等の減少などにより流動負債その他が2,981百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ514百万円減少し、50,642百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,709百万円減少し、155,695百万円となりました。これは主に資本剰余金が1,316百万円、その他有価証券評価差額金が1,116百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益4,525百万円、減価償却費2,494百万円、たな卸資産の増加1,747百万円、未払消費税等の減少1,896百万円、法人税等の支払額2,854百万円などで908百万円の支出となり、前年同期に比べ398百万円の支出減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出10,053百万円、定期預金の預入による支出3,475百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出3,236百万円、定期預金の払戻による収入6,370百万円、有価証券の売却及び償還による収入5,112百万円などにより5,677百万円の支出となり、前年同期に比べ804百万円の支出増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出5,000百万円、配当金の支払額2,011百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出2,022百万円などにより、前年同期は長期借入による収入があり7,339百万円の収入でありましたが、9,067百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より15,549百万円減少し27,199百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間では、売上高、利益ともに期初予想を若干上回って進捗しております。通期につきましては、タカラバイオグループでは、売上高は期初予想を上回る見込みですが、利益面では研究開発費などの販売費及び一般管理費の増加を見込んでおります。宝酒造グループでは、これから年末にかけて最需要期を迎える国内酒類の事業環境、国内消費の動向などについて依然不透明感が残っております。

以上のことから、グループ全体の売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも期初予想を据え置いております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11百万円増加しております。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が1,316百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,296	33,461
受取手形及び売掛金	54,617	53,692
有価証券	27,022	26,467
商品及び製品	28,524	30,046
仕掛品	958	1,243
原材料及び貯蔵品	3,317	3,378
その他	5,148	5,647
貸倒引当金	△233	△205
流動資産合計	160,653	153,732
固定資産		
有形固定資産	53,085	53,860
無形固定資産		
のれん	8,071	7,555
その他	4,286	4,195
無形固定資産合計	12,358	11,751
投資その他の資産		
投資有価証券	32,900	26,385
その他	5,608	5,673
貸倒引当金	△166	△165
投資その他の資産合計	38,342	31,893
固定資産合計	103,785	97,505
資産合計	264,438	251,238
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,680	15,078
短期借入金	5,292	5,389
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払酒税	7,615	7,429
未払費用	5,456	4,558
未払法人税等	2,107	1,412
賞与引当金	2,162	2,487
その他の引当金	1,868	1,828
その他	9,695	6,714
流動負債合計	54,877	44,899
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,334	10,430
退職給付に係る負債	8,407	8,523
長期預り金	5,622	5,521
その他	6,792	6,166
固定負債合計	51,156	50,642
負債合計	106,034	95,542

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,196	1,879
利益剰余金	108,647	109,160
自己株式	△9,937	△9,938
株主資本合計	115,132	114,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,098	7,981
繰延ヘッジ損益	558	245
為替換算調整勘定	7,431	7,536
退職給付に係る調整累計額	△297	△337
その他の包括利益累計額合計	16,791	15,425
非支配株主持分	26,481	25,941
純資産合計	158,404	155,695
負債純資産合計	264,438	251,238



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	101,130	106,934
売上原価	62,502	65,302
売上総利益	38,627	41,632
販売費及び一般管理費	35,351	37,751
営業利益	3,275	3,880
営業外収益		
受取配当金	236	248
その他	324	510
営業外収益合計	560	759
営業外費用		
支払利息	247	225
その他	159	87
営業外費用合計	407	312
経常利益	3,429	4,326
特別利益		
投資有価証券売却益	19	260
その他	59	11
特別利益合計	78	271
特別損失		
固定資産除売却損	128	50
投資有価証券評価損	—	23
役員退職慰労金	34	—
その他	1	—
特別損失合計	164	73
税金等調整前四半期純利益	3,343	4,525
法人税、住民税及び事業税	1,310	2,117
法人税等調整額	△76	△298
法人税等合計	1,233	1,819
四半期純利益	2,110	2,705
非支配株主に帰属する四半期純利益	281	180
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,828	2,525

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	2,110	2,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	936	△1,116
繰延ヘッジ損益	166	△316
為替換算調整勘定	△1,837	128
退職給付に係る調整額	△92	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	△87	50
その他の包括利益合計	△913	△1,292
四半期包括利益	1,196	1,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,309	1,159
非支配株主に係る四半期包括利益	△112	253

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,343	4,525
減価償却費	2,127	2,494
受取利息及び受取配当金	△337	△386
支払利息	247	225
投資有価証券売却損益 (△は益)	△19	△260
売上債権の増減額 (△は増加)	1,772	854
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,937	△1,747
仕入債務の増減額 (△は減少)	40	△528
未払酒税の増減額 (△は減少)	△1,066	△185
未払消費税等の増減額 (△は減少)	745	△1,896
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△313	△1,140
その他	△95	△198
小計	4,506	1,755
利息及び配当金の受取額	355	425
利息の支払額	△244	△234
法人税等の支払額	△5,923	△2,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,306	△908
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,856	△3,475
定期預金の払戻による収入	11,231	6,370
有価証券の取得による支出	△3,880	△10,053
有価証券の売却及び償還による収入	1,686	5,112
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,045	△3,236
投資有価証券の売却による収入	28	270
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△142	—
その他	105	△664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,873	△5,677
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	10,100	146
社債の償還による支出	—	△5,000
配当金の支払額	△2,211	△2,011
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△2,022
その他	△549	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,339	△9,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	△471	103
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	687	△15,549
現金及び現金同等物の期首残高	34,608	42,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,296	27,199

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

&lt;変更後の区分方法により作成した前第2四半期連結累計期間の情報を記載&gt;

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	88,358	10,585	809	99,753	1,150	100,904	226	101,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	156	385	0	542	1,682	2,225	△2,225	—
計	88,515	10,971	810	100,296	2,833	103,129	△1,999	101,130
セグメント利益	2,194	625	30	2,850	11	2,862	413	3,275

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益等であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去20百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益392百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,741	12,811	954	105,507	1,196	106,704	230	106,934
セグメント間の内部 売上高又は振替高	131	446	1	578	1,507	2,086	△2,086	—
計	91,872	13,257	955	106,086	2,703	108,790	△1,855	106,934
セグメント利益又は損 失(△)	2,918	684	35	3,638	△19	3,619	260	3,880

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益等であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)は、セグメント間取引消去37百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益223百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

当社は平成27年4月1日付で連結子会社である宝ネットワークシステム株式会社を吸収合併いたしました。これに伴い、前連結会計年度まで「その他」の区分に含まれておりました宝ネットワークシステム株式会社の事業は第1四半期連結会計期間より「調整額」に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」につきましては、当該変更後の金額に組替えて表示しております。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「宝酒造グループ」で11百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。